

無利子融資にNPO続々

新設された助成金についての説明会
(京都市下京区・京都地域創造基金)



10月1日に創設した「きょうとふNPO活動支援融資制度」。NPO法人(特定非営利活動法人)が対象で、10日までに同基金事務所(同区)へ26団体が相談に訪れた。同基金によると、NPO法人向けのほかの融資制度では「相談で月平均数件程度」といい、実質無利子や100万

公益財団法人「京都地域創造基金」(京都市下京区)が運営する市民団体への新たな資金調達の仕組みに注目が集まっている。実質無利子の融資制度に、2カ月余りで26件の来所相談があり、同基金は「予想を上回る反響。潜在的な資金需要が表出している」とみる。10日から助成金申請の説明会も始め、PRを強化した。
(本田貴信)

京都地域創造基金

円までの小口融資、原則担保不要といった特長が奏功しているとみる。

相談内容は▽行政からの受託事業が完了するまでのつなぎ資金▽新規事業への投資―などで、同基金では「これまで資金不足で規模縮小せざるを得なかった団体が、活動の幅を広げるのに利用しようとしている」と話す。

10日には同基金事務所でも市民活動団体に向けて10月に設けた「京都地域創造基金設立記念助成」(1団体上限50万円)の説明会を開き、参加した5団体に申請手続きや審査基準を解説した。

助成の申請は18日までで11日午後6時半と12日午前11時にも説明会を開く。問い合わせは同基金☎075(354)8792。

2カ月で26件相談